

「気になるサイン」にピンときたら通報を

次のような「気になるサイン」に気づいたら、「くるめ見守りほっとライン」へ通報してください。

新聞・郵便が溜まっている

新聞、郵便物、宅配の不在票などが郵便受けや玄関先に溜まっている



カーテン・雨戸が閉められたまま

カーテンが閉められたままで、いつもと様子が違う。また、天気の良い日が続いているのに雨戸が閉められたままになっている。



洗濯物が干したまま

同じ洗濯物が、数日間干したままになっている。



訪問しても応答がない

留守でないと思われるが、訪問時の声かけに応答がなく、配達物などがそのままになっている。また、約束した時間に訪問しても応答がない。

電灯がついていない・ついたまま

在宅していると思われるのに、長時間室内の電灯がついていない。また、明るい昼間でも、外灯などがついたままになっている。

24時間
受け付け

くるめ見守りほっとライン
くるめ・みまもり・サン・キュー
0942-30-9 3 3 9

関係機関と連携して通報に対応します

「くるめ見守りネットワーク」は、警察署や消防署などの関係機関とも連携をしています。ほっとラインに通報が寄せられると、市は安否確認等を行ないます。その際、必要に応じて警察や消防と連携し、安否確認や病院への搬送を依頼します。

なお、明らかな異常・異変が疑われるような緊急の場合は、直接「警察署」や「消防署」へ連絡をお願い致します。



くるめ見守り通信

第1号 平成27年1月発行 久留米市 健康福祉部 地域福祉課
電話：0942-30-9174 FAX：0942-30-9710



久留米市
イメージキャラクター
くるっば

この通信は「くるめ見守りネットワーク」に協力していただいている皆さんに、見守り活動や「くるめ見守りほっとライン」への通報の状況などをお知らせするものです。

広がる見守りの輪

平成25年12月25日の「くるめ見守りネットワーク」開始以降、協力事業者として協定を結んでいただいた事業者は97事業者(所)になりました。また、多くの地域の皆さんにも協力いただき、見守りの輪が広がっています。

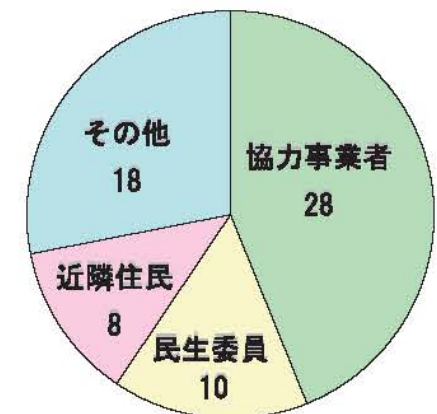
〇協定を結んでいただいた事業者の皆さん

- 日本郵便株式会社
久留米市内の全郵便局(47局)
- 農業協同組合
久留米市農業協同組合
にじ農業協同組合
みい農業協同組合
福岡大城農業協同組合
三瀬町農業協同組合
- 配食サービス実施事業者
宅配クック ワン・トゥ・スリー久留米店
株式会社 セイブ
まつのぶ食堂
社会福祉法人 景福会
有限会社 田主丸アグリビジネス
はな兆
- 電気・ガス・水道等
九州電力株式会社 久留米営業所
久留米ガス株式会社
株式会社ジェネッツ
- コンビニエンスストア
株式会社 セブン-イレブン・ジャパン
- 生活協同組合
グリーンコープ生活協同組合ふくおか久留米支部
エフコープ生活協同組合久留米支所
くるめ医療生活協同組合
- 生命保険・損害保険・建物取引業
明治安田生命保険相互会社 久留米支社
一般社団法人 福岡県損害保険代理業協会久留米支部
公益社団法人 福岡県宅地建物取引業協会久留米支部

〇地域の皆さん

- 校区コミュニティ組織(自治会) ●民生委員児童委員 ●地区社会福祉協議会(ふれあいの会) ●老人クラブ など

「くるめ見守りほっとライン」には、平成27年1月5日現在で64件の通報が寄せられました。うち安否確認の通報が39件、その他の問い合わせなどが25件でした。通報していただいた方の内訳は右図のとおりです。協力事業者、民生委員、近隣住民の皆さんの他、協定を結んでいない事業者の皆さんからも通報が寄せられるなど、見守りの輪が広がっています。



通報者の内訳
協力事業者：28件
民生委員：10件
近隣住民：8件
その他：18件
合計：64件

さまざまな通報が寄せられています

今後の見守り活動や通報の際の参考にしていただけるように、これまで「くるめ見守りほっとライン」に寄せられた通報の内容やその後の対応などを紹介します。



●協力事業者の方から●

一人暮らしの高齢者宅で新聞を投函したところ、中から人を呼ぶ声があったので、玄関を開け、廊下で動けなくなっているのを見つけました。救急車を呼ぶか本人に確認すると、その必要はないとのことでしたが、今後また倒れたりしないか心配なので連絡しました。

<対応>

本人に電話で連絡を取りました。意識ははっきりしており、再度確認しましたが、「救急車は呼ばなくて良い、朝から送迎バスが来てデイケアに行く予定なのでそこで受診し、入院をしたいと考えている」と言われました。今後のサポートのため、必要に応じて各行政サービスの担当課へつなぐ体制をとりました。

●ご近所の方から●

路上で、倒れこんでしまった人を見つけました。病院へ行くことを勧めましたが、「家に帰りたい」と訴えられたので、一緒にいた友人たちと家まで送りました。一人暮らしのようで心配なので連絡しました。

<対応>

地域を担当する民生委員の方に連絡し、家を訪ねてもらったところ、本人は家の中で動けなくなっていました。消防へ連絡し、救急車で病院に搬送してもらいました。

●民生委員の方から●

一人暮らしの高齢者宅をお屋頃に訪問したらとても具合が悪そうな様子でした。夕方に再度訪問したのですが応答がなく、何度電話をしても出られません。

<対応>

アパートの管理人や、近所の方などに協力してもらって家の中を確認したところ、本人が怪我をして倒れているのを発見しました。具合が悪くふらついて倒れたときに怪我をしたとのことだったので、消防へ連絡してもらい、救急車で病院に搬送してもらいました。

●市社会福祉協議会から●

施設に入所した方がいるのですが、その方には同居している息子さんがいるはずなのに、自宅へ何度訪問しても返答がなく、息子さんの安否が心配です。

<対応>

対象者宅を訪問し、本人と直接話すことが出来ました。生活の状況を聞くと、生活上特に困ったことはないとのこと、無事であることを確認できました。

●協力事業者の方から●

一人暮らしの高齢者宅に4日ほど新聞が溜まった状態で、呼鈴を鳴らしても返答がありません。今までは、数日間留守にする際には連絡をもらっていましたが、今回は連絡がなかったのが心配です。

<対応>

対象者宅を訪問しましたが不在だったので、近所の方に確認したところ、入院中であることがわかりました。

協力事業者の取り組みを紹介 九州電力久留米営業所

事業所としての取り組みや活動に当たっての工夫などについて、九州電力久留米営業所に話を伺いました。

当営業所は、平成25年12月に、協力事業者として市と協定を結びました。主に、お客さまと直接お会いする機会が多い集金担当者が、見守り活動を行っています。

協定をきっかけに、いち早く異変に気付くことができるよう、これまで以上に、訪問および電話でお客さまと直接連絡をとるように心掛けています。また、毎月の職場会議などの際には、見守りほっとラインへ通報した事例を報告し、情報を共有することで、活動への意識が高まるようにしています。



同営業所営業運営グループ副長の、井手太さんと市川三浩さん



より多くの人に見守り活動に関心をもってもらえるよう、車やバイクにステッカーを貼っています。